

第39回大分学習療法研究会開催

～日常の楽しい学習は質の向上の第一歩～

おもと

秋の
号外版!!

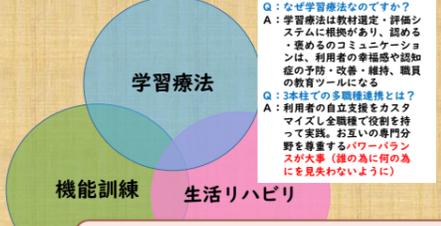
和光園理念

笑顔あふれる、和みの空間へ
目的 医療ケアと日常生活サービスを提供することによって、
家庭への復帰を目指す施設

九月二十八日（土）第三十九回大分県学習療法研究会が開催されました。今回は和光園の現場とZOOMで、県外からも参加しやすい環境となりました。理事長挨拶の後には、吹田事務長から和光園の施設紹介で、学習療法・機能訓練・生活リハビリと普段取り組んでいる様子が紹介されました。学習見学では、入所で技能実習生が学習療法に取り組んでいる様子が生配信され、とても好評でした。また事例発表では、入所・通所から一事例ずつ発表させて頂き、その後のグループ討議で色々なご意見をいただく事が出来ました。グループワークの中でも、笑いあり、学びありの今日からの学習にいかせる研究会となりました。



和光園の3本柱 在宅復帰のその一歩 わたしたちが支えます



5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)で学習療法の時間と環境確保/ムリ・ムダ・ムラ取りで解決



和光園の3本柱・5S等色々な取り組みを紹介



利用者様に褒められる
大きなOです

学習中は真剣な姿ですが、
回想法では満面の笑顔のKさんです



発表者は普段見ない真剣な姿で集中です!



最後に参加者全員でハイチーズ

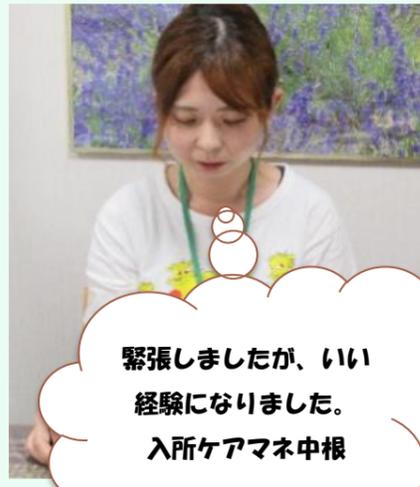
演題1「学習療法で今を笑顔で生きる」

～要介護5の私が要介護3になるまで(令和6年8月号月間ケアマネジメント記載事例より)～

「学習療法で今を笑顔で生きる」
～要介護5の私が要介護3になるまで
(令和6年8月号 月刊ケアマネジメント掲載事例より)



介護老人保健施設 和光園(入所)
介護支援専門員 中根紗弥加



緊張しましたが、いい
経験になりました。
入所ケアマネ中根

入所では、学習療法を主軸に、機能訓練・生活リハビリの3本柱で自立支援した結果、要介護5から要介護3になられた学習者様の事例について、ケアマネージャーとして、私の作成するケアプランにどのような学習療法が活かされているのか、和光園でのケアプランの構成についてもご紹介しながら発表させて頂きました。皆様からの温かいご意見を沢山頂き、今後の励みとなる貴重な機会を頂けたと思っています。

演題2「学習者51名のFAB/MMSEの推移で検証」

【取り組み2】

37名中認知症の診断名のない学習者2名の、5年間のFAB/MMSEの開始時・3か月後・現在の測定推移での分析

NO	開始年月	開始時		3ヶ月後		現在	
		MMSE	FAB	MMSE	FAB	MMSE	FAB
1	2018/6	28	15	30	14	29	16
2	2018/6	18	8	23	14	26	13
FAB/MMSE平均		23	11	26	14	27	14

<51名中アルツハイマー認知症14名とその他37名の比較>

14名	開始時	3ヶ月後	現在	37名	開始時	3ヶ月後	現在
MMSE	18	20	15	MMSE	22	23	23
FAB	10	12	9	FAB	12	14	14

学習療法は3ヶ月で向上! 5年間長期で継続している方は続けることで低下無く向上しています。



全国大会での発表
も頑張ります
通所マスター峯崎

通所では、学習者様のアルツハイマー認知症の診断の有無と、学習期間における測定数値の推移での学習効果を検証した事例を発表しました。今回の検証で診断の有無に関わらず、学習療法と機能訓練、生活リハビリの相乗効果が確認できた事をお伝えしました。グループワークでは、参加された皆様から様々な意見をたくさんいただくことが出来ました。このような場で通所の事例発表が行え、発表した私自身も大変勉強になった研究会でした。

発行

医療法人 信和会
介護老人保健施設
和光園

学習療法研究会
令和6年10月
☎0978-37-3887